

2020

5月31日(日)	聖霊降臨の主日 ミサ なし		
	9:30	ロザリオの祈り「光の神秘」(ご家庭で)	
	朝ミサ		
6月1日(月)	7:00		
2日(火)	7:00	10:00	レジオ(カナ)
3日(水)	7:00		
4日(木)	7:00		
5日(金)	7:00	10:00	レジオ(カナ)
6日(土)	7:00	9:30	清掃(F地区)
6月7日(日)	三位一体の主日		
	ミサ 7:00 (A・B 地区) 9:00(C・D 地区) 11:00(E・F 地区) 特別祈願: 新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈り		

主任司祭からのお知らせ

香里教会ではミサを次のように再開いたします。

平日ミサ 6/1より 7:00 月曜日～金曜日 於 大聖堂  
主日ミサ 6/7より 7:00、9:00、11:00 地区ごとにミサの時間を指定します

- ・必ずマスクの着用、手指の消毒をお願いします。
- ・ミサに参加される方は、ミサ参加票(聖堂前に準備しています)に名前と連絡先を記入後、提出してください。感染発生時の連絡に使用します。
- ・引き続き、ミサに与ることができない信者には、「ミサに与る義務」は免除されます。  
ミサに行くことを自粛せざるを得ない苦しみを、ご家庭でお祈りください。
- ・詳細については、別紙「香里教会信徒の皆様へのガイドライン」をお読みください。
- ・状況が変わった場合は、お知らせします。

評議会からのお知らせ

信徒総会の資料は6月7日までに各トレイに入れる予定です。

典礼委員会からのお知らせ

「ロザリオの祈りカード」を集めます。聖堂前の専用箱に入れてください。後日、奉納いたします。

コロナ対策による自粛要請は解除になりましたが、ウイルスがなくなったわけではありません。敵が見えないのは「悪霊」と同じ。油断は禁物です。

世界の歴史上、忘れ去られた頃やってくる、この度の世界的災害は、見えないウイルスにすきを与えないよう無防備にならず、人類が新しい生き方を身に着けるための一つの警告を与えられたのだと捉えたいものです。

神様から世界の管理を任された人類といえども、私たちは食物連鎖の頂点に君臨しているわけではありません。学識高い太っちょの友人神父のかつての言葉です。「だいたい地球上の生物の90%は、他の生物の餌になるんだよ。人間もその例外ではない。ウイルスや癌のえさだ」と。生物を互いの餌にするという、初めて耳にした「計りがたい神さまのやり方」に困惑圧倒された私でしたが、実にその通りなのだと思います。イエス様も私たちの餌(ご聖体)となるために世に来られ、十字架を通過して復活し、聖霊を約束して教会を誕生させた、この神の計らいを思うと、ただ只、手を合わせるしかありません。言われて見れば私たちの親も、子供の餌となって川を流れて逝くタニシに譬えられるのです。(タニシの話はまたの機会に!)

親がいなくなって、親の残した遺言で子どもは生きる。イエス様が残して逝った遺言は、「聖霊」でした。この聖霊で生きる人が真のキリスト者なのですが、果たしてどれだけの信仰者が「見えない聖霊」を自覚しているのでしょうか?

約束の聖霊は「エルサレムで待て」。この意味は大切です。自己保身、自己中心性である私たちの自我に死んで、空になった器に聖霊が宿ることを学んだ信仰者にとってエルサレム(苦しみ、災害等)は自我を捨てるチャンスだからです。

聖霊によって教会が誕生した喜びを今日は、私たちの誕生日と同じように祝う日です! 6月からの公式ミサで皆様とお会いできますことをたのしみにしています。

2020.5.31 主任司祭 昌川信雄